

今回紹介する団体：徳島県、水土里ネット徳島

取組概要

内容： 従来、水土里情報利活用促進協議会会員が利用していた ArcGIS の簡易版である水土里 GISLight の代替として QGIS を導入し、水土里情報の QGIS 対応・オンラインマニュアルの公開等を実施した。

- 経緯： ① 水土里 GISLight は Windows10 では動作不可であり、令和 2 年 1 月 14 日の Windows7 サポート終了に伴い、水土里 GISLight の利用が出来なくなった。
- ② 水土里 GISLight に代わる GIS ソフトの検討を行った結果、徳島県農林水産部で既に導入していた無償で使えるオープンソースの QGIS を採用した。
- ③ 水土里 GISLight で利用していた水土里情報データ（農地筆、数値地図、オルソ画像等）を QGIS で利用出来るように gpkg（ジオパッケージ形式）に変換し、利便性の向上を図った。
- ④ 水土里情報利活用促進協議会会員が簡易に QGIS を利用できるよう、オンラインマニュアルを作成した。令和 2 年 9 月 1 日、水土里情報利活用促進協議会研修会を開催し、県内 24 市町村全てに QGIS インストールプログラム及びジオパッケージに変換した水土里情報データを配布するとともに、オンラインマニュアルを公開した。

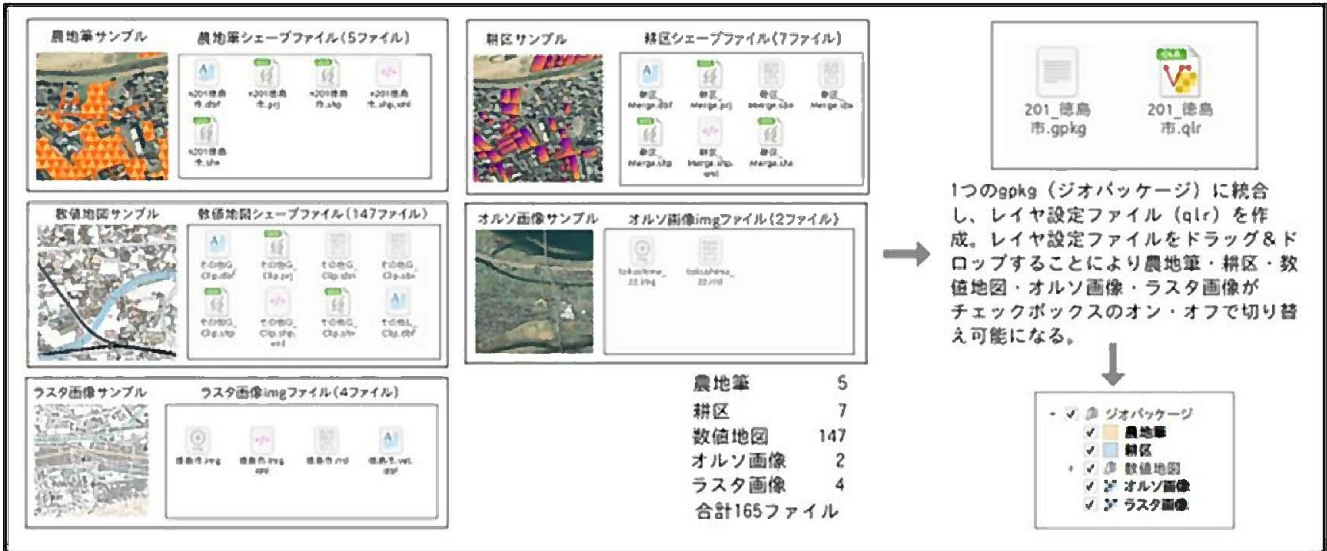
取組による効果

従来の水土里情報の数値地図はシェープファイル（shp）形式で保存されており、1つの地物に対して複数のファイルで構成されているため、数値地図全体で100を超えるファイルが存在した。データをコピーする際は1つでも欠けると動作しないため、不慣れな人にとってデータの受け渡しは大変な作業であった。また、シェープファイルは項目名に半角10文字（全角5文字）の制限があり、分かりやすい項目名にするにも限界があった。

QGIS はデフォルトで項目名の制限がないジオパッケージ（gpkg）形式を採用しており、同時にオルソ画像などのラスターデータも保存出来るため、1つのジオパッケージファイルで全ての水土里情報が利用出来るようになった。

また Android 端末に限られるが、QGIS 公認の Qfield という無償のアプリがあり、QGIS のデータをそのままコピーすれば Android 端末で閲覧・編集が可能のため、現地調査等への活用も考えられる。

水土里情報



QField



今後の活用予定

「QGIS」はスタンドアロンで利用団体が個別に空間解析を行う GIS ソフト、「e コミマップ」はクラウドでデータを一元化することにより、空間解析を行わない閲覧のみの GIS ソフトと位置付けて、二本立ての GIS ソフトで運用することにより、水土里情報の更なる利活用に繋げる。

GISシステムのバージョン情報

GIS エンジン : ArcGIS Desktop Ver10.5.1
 QGIS Ver3.10.10
 e コミマップ Ver2.4.1

■お問い合わせ先

徳島県土地改良事業団体連合会 事業課 地域保全担当

088-626-3936